

# Stage Up

2001年

5月号

生涯学習情報誌  
ステージ・アップ  
通巻 No.100



写真：「サギの親子」有田 政一さん（等々力緑地にて）

もくじ

- 2 特集 インタビュー 橋本静代さん
- 4 生涯学習ア・ラ・カルト
- 6 ぐるーぷBOX / いま地域で学校で
- 7 まち・ひと・多面体 / くらし百景 俳壇
- 8 イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1  
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085  
ステージアップ直通 TEL 044(733)5811 E-メール: stage-up@kpal.or.jp



**特集**

**インタビュー**

発見工房クリエイト 理事長  
**橋本 静代さん**

**いまを話す**

題字：高橋 清 市長

多摩丘陵の一角、麻生区黒川。駅から草の道を歩いて10分。木々に抱かれるように、子どものための科学館「発見工房クリエイト」があります。この施設は「子どもたちが科学のおもしろさを体験し、自分で考える喜びを味わう場」になることを願って、東海大学名誉教授の橋本静代さんが、1995年に退職金を投じて建てたものです。1階には実験室、2階には実験機材が並ぶ展示・実験室があります。庭にある「メビウスの帯」の雲梯うんていや、「共振ブランコ」などの科学遊具に、子どもならずともわくわくさせられます。

ここで定期的に行われる「おもしろ科学実験教室」には、東京や小田原など遠方からも子どもたちが来るそうです。橋本さんに科学館設立のきっかけなど伺いました。



**たくさんの不思議にであう場所**  
子どもに科学のおもしろさと考える楽しさを

——橋本さんは5年前に退職金を投じて科学館「発見工房クリエイト」を設立されましたが、なぜこのような施設を作ろうと思われたのですか。

橋本 私は大学での仕事を続けながら、3人の子どもを育ててきたのですが、子どもたちが小さいときから、遊びながら科学が体験できるようなものを作りたいと思っていました。じっくりと自分で考え答えを見つけようとする子どもは、学校では目立たない存在で、あまり評価されませんでした。むしろ考えずに早く答える子どもはよい成績をもらってきました。そのころから、じっくりゆっくり考える子どもの探求心を伸ばせる場所を作りたいと考えていたのです。

大学で学生たちを見ていても感じるがありました。私の専門は物理ですが、物理は考え方が大事なんです。新しい法則を発見するにしても考える力が重要です。私は、学生たちに「結果だけあっていてもだめ、零点にする場合もある。でも結果が違っていても考え方があっていたら点を与える」と言っていました。受験戦争が激しくなって点をとるためのテクニックが染み込んでしまったからでしょうか、自分で解決方法を見出す力、考え抜く力が落ちているなど感じていたのです。

そんなこともあって、遊びを通して科学の不思議さとおもしろさが体験でき、子どもたちが考える楽しさを存分に味わえる場所を作りたいと思うようになりました。

——定期的に行われる「おもしろ科学実験教室」に集う子どもたちとふれあい、どんなことを感じていますか。

橋本 子どもたちと接しているのはとても楽しいです。私の生きがいです。実験教室では予測を超えるような出来事によく出会います。実験を通して法則を発見したりする子もいるんですよ。いつも子どもたちの発想に驚かされています。子どもは天才ですね。

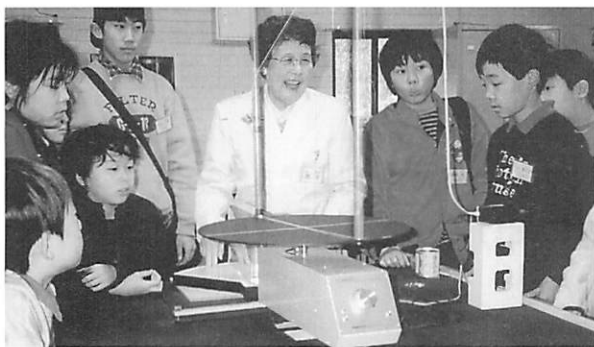
——先日見学させていただいた実験教室では「光ファイバーの不思議」というテーマで、工作をしていました。その時、先生やスタッフの方が子どもたちにほとんど指示をしていない感じがしたのですが…。

橋本 科学は探求することです。自分で探求する、その力をつけることが大事なので、原理だけは教えますが、そのあとは自分で考えさせます。間違えても、失敗してもいいんです。失敗してこそ進歩があるんですから。子

どもたちはいろんな工夫をしています。だから出来あがりには実にさまざまです。

「子どもにウケる科学手品77」(講談社ブルーバック)の著者の後藤道夫さんも、この科学館設立の協力者で、「実験教室」では何度も講師をしています。すばらしい教え方をしていました。教えるというよりも、子どもと同じ方向を見て一緒に探求しているという感じでした。たとえば、手巻きコイルで簡単なモーターを作るときでも、初めそれが回っている見本を見せ、どうして回るのか、その原理をていねいに説明します。けれども作り方は手をとって教えたりしません。そして「モーターが回るまで帰さないよ」と厳しい。子どもたちは試行錯誤しながら工夫を重ねますが、それでもなかなかうまく行かない。そんな時「科学では100回の失敗、1回の成功はあたりまえ」といって励ましていました。誰かがうまいことをしていると「みんなきてごらん」と言って集め、「この人はこうやっているんだよ」と見せます。そしてうまいアイデアを出した子を、みんなの前でいつもほめていました。

このように、子どもたちの考える力と創造への意欲を伸ばしていく指導が本当の科学教育なのだと思います。



「おもしろ科学実験教室」で子どもたちに説明する橋本さん

——運営はどのようになさっているのですか。

橋本 日本の科学館のほとんどは公立です。科学館の運営と実験教室を自力で続けていくことはたいへんです。私の個人資産だけではじめましたので、運営はいつも赤字で継続ができない状態になったこともありました。1999年9月にNPO法人(特定非営利活動法人)として認証され、公的な助成が受けやすくなるかと思いましたが、依然として苦しい台所事情です。庭にある遊具「メビウス帯」や「クラインの壺のアスレチック」など、物に対しての民間財団の助成はあるのですが、運営に対する助成はなかなか得られません。科学実験教室の参加費と賛助会費・寄付でまかなっています。事務や実験のアシスタントも全くのボランティアで手伝っていただいています。必死で助成金探しもしました。助成金頼みですので、計画がなかなか立てられないのです。助成が受けられることが決まって初めて「今年はこれでは何かな」という感じです。不安定なので長期の計画は立てられません。



庭にはユニークな形の遊具がある  
写真は「クラインの壺のアスレチック」

それでも、発見工房の活動を知り、寄付して下さる方がいたり、近所に住む若いエンジニアの方がご夫婦で「何かお手伝いできることがあれば」と、実験の助手をして下さったりと、いろんな方に助けられています。

——最後に抱負をお聞かせください。

橋本 これからは2階の展示室を整備して、日を決めて公開したいと思っています。公開日には、いろいろな実験もしたいですね。来館者には、庭にある科学遊具で自由に遊んでもらえればと考えています。そうなった場合、安全面が心配なので、公開日に子どもを見て下さるボランティアの方がいればいいなと思っています。

これからこんな科学遊びや、実験教室で子どもたちを伸ばしていく民間施設が至るところにできればいいなと思います。退職した研究者や技術者がたくさんおられるわけですから、子どもたちが自分の足で歩いていける場所に、好きなことをどんどん伸ばせるような施設がたくさん増えて欲しいです。それには公的な援助が必要です。こういう施設を運営したいという方はけっこういらっしやって、私のところにも問い合わせがあります。しかし、運営資金に困って、1年ぐらいでやめてしまうのです。

今の学校では個性を伸ばすのはむずかしい。学校では基礎的なことだけを教えて、個性を伸ばすのは民間でした方がいい。「発見工房」がそういうモデルの一つになればいいと思っています。

### 橋本 静代さん (はしもと・しずよ)

発見工房クリエイト理事長、東海大学名誉教授。1959年東京大学大学院数物系研究科物理学専攻修士課程修了。同年東京大学宇宙航空研究所助手。67年東海大学助教授、76年同大教授。95年名誉教授。川崎市児童福祉審議会委員をへて現在神奈川県科学技術会議企画委員、ロボフェスタ神奈川2001実行委員会企画委員、川崎市地域ものづくり協議会委員、かわさきマイスター選考委員会副委員長、21世紀子どもサイエンス基本構想策定委員会委員長。専門はプラズマ分光物理学。趣味は写真撮影。2女1男を育て皆独立。孫6人。

## ●まなぶ●

## 受講者募集

## 宅地建物取引主任者答案練習講座

土地・建物の取引物件の説明、契約書の作成に関するスペシャリストをめざす方の試験直前の集中講座です。総合模試も行います。

- 【期 間】** 7月14日～9月29日の土曜日、全11回  
**【時 間】** 14時～16時15分  
**【場 所】** 新百合21ビル B2 生涯学習振興事業団  
 (小田急線新百合ヶ丘駅下車徒歩2分)  
**【費 用】** 受講料15,000円、教材費5,000円  
**【定 員】** 60人(応募者多数の場合は抽選)  
**【申込期間】** 6月5日(火)～15日(金)  
**【申込方法】** 電話申込の場合は、申込期間中の(火)～(金)  
 10時～16時に ☎952-5000へマはがきの場合は最終日必着で下記にお送りください。  
**【申 込 先】** 〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2新百合21  
 川崎市生涯学習振興事業団「資格取得支援」係

**問い合わせ** 学習事業室新百合分室 ☎044(952)5000

## 「プラザ陶芸室」を貸し出します

学習事業室では、市民の皆さんの陶芸を楽しむ場として、下記の要領で「プラザ陶芸室」を貸し出します。

- 【貸出内容】** 電動ロクロ…10人 手びねり…15人(先着順)  
**【作陶工程】** 成形日の1週間後に「削り」を、そのあと2・3週間して「絵付け・釉薬」を行います。  
 5/31(木)、6/1(金)、6/14(木)、6/15(金)  
 7/12(木)、7/13(金)、7/26(木)、7/27(金)  
 ※成形日を指定しますと、「削り」「釉薬がけ」の日程が自動的に決まります。  
**【利用時間】** 午前の部…9時30分～12時30分  
 午後の部…13時30分～16時30分  
 (作業時間と後片付けの時間を含む)  
**【費 用】** ・室料…1工程3回分で2000円(前納)  
 電動ロクロ利用者は別途200円  
 ・粘土…1kgにつき300円  
 ・焼成料…削り後の作品100gにつき100円  
**【場 所】** 川崎市生涯学習プラザ地下・実習室  
**【申込方法】** 直接来館(はがきまたはファックスでも可)  
**【申 込 先】** 〒211-0064 中原区今井南町514-1  
 川崎市生涯学習振興事業団学習事業室「陶芸」係

**問い合わせ** ☎044(733)6626/Fax 044(733)6697

## 生涯学習ア

## ●はぐくむ●

## 創作は遊び心から

## 川崎市青少年創作センターのこれから

小田急線生田駅から徒歩8分、丘の上にある「川崎市青少年創作センター」の周りには、四季の草花が咲き乱れています。創作センターは、昨年10周年の区切りを越え、今年度は新たな気持ちで20年目を目標に動きはじめました。

「ものづくり」の楽しさと創作の喜びを味わえるような「創作教室」を季節ごとに行ってきました。また、成人向けの創作学習の場も提供してきましたが、今後も、みなさんのご要望を取り入れ、楽しい企画を考えていきたいと思っていますので、ご意見をお寄せください。

**問い合わせ** 川崎市青少年創作センター  
 ☎(911)1510/FAX (934)3880  
 〒214-0034 多摩区三田2-3303-1

## ◆ホームページアドレス◆

<http://www.City.kawasaki.jp/88/88sosaku/home/kc.htm>

川崎市子どもの権利に関する条例-その2  
家庭における子どもの権利保障について

条例を制定するにあたって心掛けたことの一つは、とくかく抽象的にとらえられがちな「権利」を、子どもが現に生活している場や子どもの目線からとらえたいということでした。

そのような観点からまとめられたものが第3章です。おもな内容は、「家庭」「育ち・学ぶ施設」「地域」の3つの領域からなっていますが、今回はまず「家庭」における権利保障をとりあげてみます。

◆保護者は、子どもを育てるときには、子どもにとって最も良いことを第一に考え、子どもの年齢や成熟にあわせて「子どもの権利」をささえます。

◆保護者は、子どもに対して、心や体を傷つけたり放っておいたりするなど、あらゆる形の虐待や体罰をしてはいけません。

◆虐待の事実を知り、または発見した人は、児童相談所などに知らせます。

◆市は、保護者に対して、子育てをささえたり、虐待を防いだり、虐待を受けた子どもを助けたりします。

< 次回に続く >

**問い合わせ** 市民局人権・男女共同参画室 ☎044(200)2344

# ラ・カルト

## ●たのしむ●

### 川崎初「パークボール場」オープン!



球式にのぞむ高橋清川崎市長ら  
オープニングセレモニーの始

多摩川河川敷宇奈根地内に、川崎市で初めて「パークボール場」が新設されました。パークボールはゴルフに似たスポーツで、専用のクラブを使ってプレーします。子どもから高齢者まで気軽に楽しめるニュースポーツですので、どうぞご利用ください。

- ◆名 称…川崎市パークボール場 多摩川うなねコース
- ◆場 所…高津区宇奈根地内(JR 久地駅下車徒歩20分)
- ◆利用日…火・水曜、金～日曜の9時～16時半
- ◆休場日…毎週月・木曜と年末年始
- ◆料 金…200円～500円。詳細は下記へお尋ねください。

問い合わせ うなねコース受付事務所 ☎044(833)0115

## ●さがす●

### 学習情報こんなに利用されました

下の表は、昨年度(4月1日～3月31日)1年間の「ふれあいネット」の利用件数を統計したものです。

施設情報	112,794件
見学情報	3,128件
講座・催し物情報	6,728件
団体・グループ情報	6,076件
指導者・人材情報	3,041件
視聴覚教材情報	4,373件
電子掲示板	15,576件

「施設情報」は施設の予約があるため、利用件数が多くなっていますが、それ以外では、催し物、グループの会員募集、健康診断の日程など身近な生活情報が入っている「電子掲示板」の利用が目立っています。

平成13年度もみなさんのお役に立つ情報をたくさん提供していきますので、どうぞご利用ください。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

## ハート & ハーモニー Vol.12

### なくそう! 熱射病

スポーツドリンクで有名な会社の協賛で、1994年から日本体育協会は「スポーツ活動中の熱中症予防ハンドブック」を発行し、無料配布を続けています。「無理と無知でおこる熱中症を防ごう」が合言葉ですが、その後も真夏日(最高気温が30℃以上)の多い夏には、重症熱中症である「熱射病」による死亡事例は減る傾向にありません。

今でも熱射病による意識障害を単純に「たるんでいる」と考えて、倒れるまでトレーニングを中止しない感覚がスポーツの世界には残っていて、事故にいたらなければ「無理が通れば道理が引込む」が通用しているように感じられます。熱射病は「偶然」起きるのではなく、予防措置の不足が「必然」的に起こしているという認識が足りないのです。

熱中症予防の両輪は「環境管理」と「体調管理」です。気候は変えられないと感じるかも知れませんが、環境条件に応じた危険度の認識を持っているかどうか、今まで事故の重大さを左右してきました。

気温(℃)と湿度の10分の1(%)を足した数値が30以上で「熱中症注意報」、35以上で「熱中症警報」、40以上では「屋外運動中止警報」を意識して出してほしいと願います。これは屋内環境でも同じです。自分の管理下で気温と湿度を記録しているスポーツ指導者がどれだけいるのでしょうか。

体調管理の大前提は無理をしないことです。「熱中症注意」以上の環境で、体調の十分でない人が無理をしても得るものではありません。精神力を鍛えるなどは論外です。その上での大原則が水分補給です。

汗をかき続けている間は熱射病にはなりません。水1ℓに食塩1～2gと砂糖30～50gを溶かして、15分ごとにコップ1杯(100～150ml)飲めば、数時間はばてずに安全な運動が行えます。もちろん朝食を1人前にとるなど、運動開始前に脱水状態が始まっていないことはチェックが必要です。喉が渴くのはある程度脱水になってからなので、それからの水分補給は運動を続けるのには間に合いません。

身体が暑さにどれだけ慣れていても重要です。盲点になるのは5月中・下旬です。雨上がりに気温が急激に上昇し、湿度も高い上に、身体は薄い汗をどんどんかく準備ができていません。真夏よりも大きな危険があります。自分の汗をなめてみて水のように感じるか、汗が目に入っても痛くなければ適応ができています。

「熱射病ゼロ」の自信を持てる夏にしましょう。  
(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)



## ぐるーぷBOX

### マイペースで卓球を楽しむ

#### 「火曜会」

球が卓球台で跳ね返る小気味良い音と明るいさざめき。卓球を楽しむグループ「火曜会」(小野塚稔代表、会員51人)が練習の最中です。同会は、高津スポーツセンターが主催した岡野恵美子さん(川崎卓球協会常任理事)の卓球教室を終了した人たちが集まり、平成11年に結成されました。

1対1やダブルスでラリーの応酬をしたり、「ラブオール」「ワンツー」と自分たちでカウントをとりながら試合をしたり。指導の先生とマンツーマンで打ち合いながらアドバイスを受けている人もいます。敏捷に動き回っている人もいれば、足の位置は不動のままという人もいますが、皆実に楽しそうです。人と人との和を大事に、楽しく朗らかにという会のモットーそのままのなごやかな練習風景です。

飛び交う球の動きもさまざま。ゆるやかな弧を描いてコートの間を行き来するものもあれば、鋭く直線的に相手コートに切りこむものもあります。卓球教室で初めて

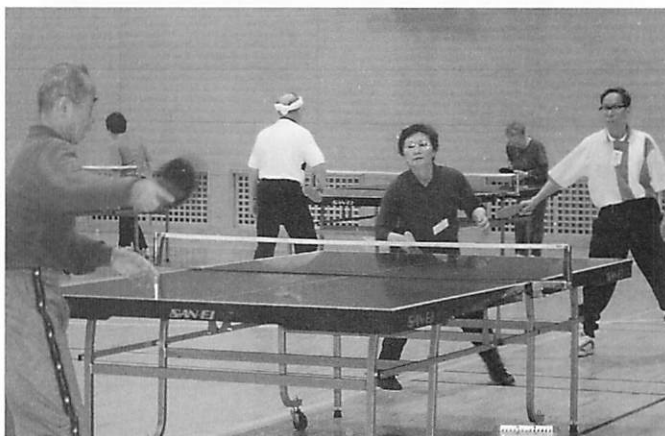
ラケットを握ったという人も多く、卓球を始めて1、2年という人が大半です。脳こうそくによる麻痺や骨折のリハビリを兼ねて始めた人もいますが、今では皆元気に球を追っています。

会員の声「退職後に始めました。体を動かして汗をかくので、体調がとても良いです」

◆活動日：原則として毎週火曜の13時から

◆場 所：高津スポーツセンター

◆連絡先：☎(955)1958の小野塚さん



## いま地域で学校で

### 動物の赤ちゃん誕生に感動

#### -日吉小学校と夢見ヶ崎動物公園のふれあい-

シマウマ、レッサーパンダ、ヘラジカ、ペンギンなど60種類、400頭の動物がいる「夢見ヶ崎動物公園」。ここは、1974年に川崎市が政令指定都市になったのを記念して幸区加瀬山につくられた公園です。

山すそにある市立日吉小学校(飯野良久校長、児童数640人)では、動物公園とのふれあいを通じ命の尊さを学び、今年で27年になります。動物園と連携した年間学

習計画には「昆虫の体と育ち」「生き物のくらし」「動物の赤ちゃん」「野鳥観察」の授業などが21回組まれています。また、サマースクールでは、高学年の児童が獣舎の清掃やえさ作り、動物の触り方などを体験しています。

1年生の校外学習「動物のあかちゃん」の日に、動物園を訪ねると、主任飼育技師小林伸一さんが「動物たちはネー、おしゃべりができないから“うんち”で体の具合を教えてくれるんだよ」とやさしく説明していました。その後、スライドでシマウマの赤ちゃん誕生の瞬間を見た子どもたちは、「ワー」と驚きの声をあげていました。

子どもたちの作文には「わたしは、どうぶつの赤ちゃんが生まれたとき、ちがでてたからビックリしました。おかあさんに、人が生まれるときもちがでるときいて、またビックリしました」「リスザルの手のひらは汗でべたべたしているけれど、木から落ちないためなんだって」「ヘラジカの部屋にうんこがあってやだったけれど新しいわらを敷いて横になったら気持ちよかった。ヘラジカの気持ちになった」など、それぞれの発見や感動がつづられています。

飯野校長は「子どもたちは、動物とのふれあいを通して、命の尊さに感動します。動物園のみなさんが熱心に教えてくださるので感謝しています」と話していました。



野鳥を観察する子どもたち(提供写真)

まち・ひと・多面体

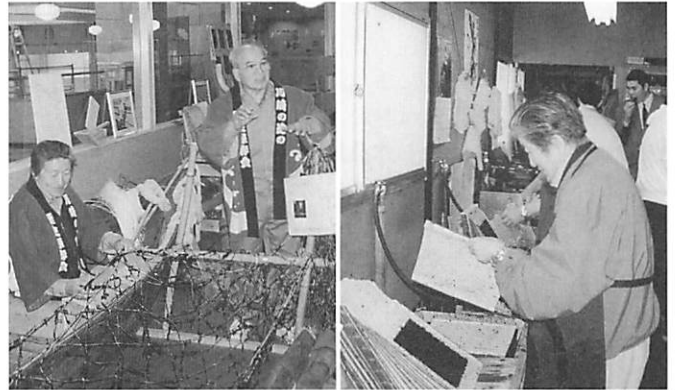
「大師のり」を知っていますか？

「川崎の海の歴史保存会」

工場や倉庫が立ち並ぶ川崎区の臨海部は、明治から昭和20年代まではのり、アサリ、ハマグリなどが豊富に採れていたそうです。特に「大師のり」は品質が良いことで知られ、川崎を代表する特産品のひとつとなっていました。昭和30年代に始まった埋め立てや工場進出により、約100年続いた川崎の漁業に終止符をうったのは昭和47年のことです。

「川崎の海の歴史保存会」(斉藤金作理事長、会員数30人)は、平成に入ってからすぐ、かつての漁師たちが「のり作り体験」の会を始めたのが発端です。平成9年に現在の名称となり、昨年7月には特定非営利活動法人となりました。歴史的資料の保存と展示のほか、「のり作り体験」や現在の川崎の海に生息している魚介類の生態調査などを、東扇島の川崎マリエンを拠点に行っています。

よく晴れた早春の日、「のり作り体験」を見学しました。巻き簾の上に生のりをのせて、1枚分に形と大きさを整えます。そのあと、のりに直接日光があたらないよ



う裏返して、障子のような台にずらりと並べて戸外に干すと、天気の良い日なら3時間ほどで乾燥のりの出来あがりです。「のり作り体験」は、川崎マリエンに隣接した建物で土曜と日曜に行っており、誰でも参加することができます。また、希望があれば市内の小・中学校へ出向くこともあるそうです。

資料展示場では船や漁の道具、なつかしい写真などを見ることができます。港湾振興会館川崎マリエンの見学も兼ねて、休日に東扇島へ足を運んでみませんか。

問い合わせは☎044(266)1544の斉藤さん

くらし百景

俳壇

鮎刺俳句会

うららかやジルバの聞こゆる市民館

薫風のあやして過ぎる水子仏

惜春や来年約シクラス会

大和路や何処をゆくも柿若葉

足場くむ若き棟梁柿若葉

十までは数へられる児豆の飯

言はれたる言葉の裏や花の冷

一枝の揺れの連なり雪柳

身体ごと笑ふ少女や猫柳

花冷や池のボートの客を待つ

うらなる佐渡一望の峠茶屋

柿の花こぼれて弾む爪先に

露地裏の火鉢に咲きしチューリップ

楠若葉せまりし窓にそぼすする

春惜しむいたわり合ひて老夫婦

流鏝馬の割る響風薫る

土の香や笛さぐる鉄の先

薫風や竹の手摺りの野草展

車椅子押され薫風ほしいま、

\*鮎刺俳句会は本年二月で二八〇回を迎えた。高津市民館の成人学校終了者により、そのまま田中一草先生を指導者をお願いして設立された。その後二十四年を経る他の同好の士も加わり現在に至っているが、変わらないのは句作に対する情熱である。

代表 橋本 蘭孔

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 | 靖 | 惠 | 卯 | フ | 和 | 峰 | 成 | 慶 | 園 | 蘭 | 八 | 不 | た | 貴 | つ | ち | 富 | 清 |
| 草 | 子 | 雨 | 一 | ク | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 孔 | 重 | 奈 | だ | 子 | や | か | 美 | 明 |

## 情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

## ●市民ミュージアム企画展～呪いと占い

6月10日(日)まで。庶民の間に伝えられてきた占いや呪法を、御札や錦絵などの資料により紹介。一般700円、高大生500円、中学生以下と65才以上は無料。☎(754)4500。

## ●創作粘土「デコの会」作品展～花あそび

5月18日(金)～23日(木)まで。場所は宮前市民館ギャラリー。月曜休館。色彩豊かなソフトクレイの作品=写真=約70点を展示。無料講習会あり。☎(865)6203の島田さん。



## ●日本発見～岡本太郎と戦後写真

7月22日(日)まで、岡本太郎美術館。岡本太郎の作品150点と土門拳、藤原新也らの作品70点。一般700円、高大生500円、中学生以下と65才以上無料。9時半開館。月曜と5月1日(火)休館。☎(900)9898。

## ●ちぎり絵・パステル画展

5月21日(月)～6月2日(土)、場所はスナック喫茶琴。内田祝子さんの作品を展示。☎(544)0507。

## ●さいわい寄席

5月13日(日)11時と14時、幸文化センター。東海道宿にちなんだ落語を。出演は柳家風太郎、喜久亭寿楽、清流亭いしあたま他。無料。当日直接。☎(511)6901の深見さん。

## ●川崎市民プラザダンスパーティ

6月9日(土)18時半より。定員150人。演奏は東京キューバンボーイズ Jr.。2500円。☎5月1日(火)よりプラザフロントで入場券を販売。☎(888)3131。

## ●ランチタイムコンサート歌の花束～ミュージカル・ソング

5月16日(水)12時15分開演。市役所第3庁舎ロビー。出演は住吉和子(ボーカル)、藤木明美(ピアノ)。曲目は「シャル・ウィ・ダンス」他。無料。☎(222)8821の文化財団。

## ●老後と介護を考える講演と映画の集い

5月6日(日)、新百合21ホール。映画「ホーム・スイートホーム」(松山善三脚本)の上映は13時と16時。15時からは栗山富夫監督や介護の専門家の講演。一般1000円、高校生以下と70才以上は700円。☎(988)3943の小泉さん。

## ●川崎市民プラザ将棋大会

6月3日(日)9時半開始。対象は市内在住・在勤・在学の200人、抽選。棋力別総平手個人戦。棋力はA…3段以上▽B…

初段・2段▽C…1～3級▽D…4級以下。参加費は大人1000円、中学生以下500円。☎5月11日(金)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、棋力、☎を記し〒213-0014高津区新作1-19-1「プラザ将棋大会」係。☎(888)3131。

## ●①わくわく実験ショー～電気のとんじょう

②ガリレオ工房科学実験教室～数学を学びながらサッカーボールを作ろう

①は5月12日(土)②は5月26日(土)、時間は①②共10時と13時半、東芝科学館。定員①各250人②は小学4年以上各50人。要予約。無料。☎(549)2200。

## ●リラクゼーションヨガ教室

5月22日～6月19日の火曜18時、全5回。サンライフ川崎で。受講料3150円。定員30人、先着順。☎(344)1777。

## ●講座～60才からの英語

5月24日～6月14日の毎木曜13時半から、全4回。場所は高津市民館他。無料。先着順。要予約。☎(852)3999「川崎実年ボランティアの会」の久徳さん。

## ●川崎市民プラザ社交ダンス特別講習会

6月9日(土)13時から。初・中級者向けのクイックステップの基本と応用。定員男女各25人。受講料2500円。☎5月12日(土)から、受講料を添えてプラザフロントに。☎(888)3131。

## ●「国際語エスペラント」入門講座

5月18日～7月13日の金曜19時半、全8回。国際交流センターで。受講料4000円。☎・Fax(533)1974の北川さん。

## ●手話入門講習会

5月22日～7月10日の毎火曜19時から、全8回。場所は多摩川の里身体障害者福祉会館。対象は市内在住・在勤・在学の40人。テキスト代のみ実費。☎5月12日(土)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、「手話」と記し〒214-0012多摩区中野島6-13-5の同会館。☎(935)1359。

## ●桜美林大学オープンカレッジ2001年春期講座

5月以降開講のパソコン関連講座▽生活の基盤を知る▽文化を知る▽国際事情を知るなどの受講生を募集中。詳細は☎042(797)8092の同大生涯学習センター。

## ●日本女子大学公開講座

5月開講のオペラを楽しむ▽第九を歌う▽育児の発達心理学▽家庭支援などの受講生を募集。場所は同大学西生田生涯学習センター。詳細は☎(945)3323。

## ●混声合唱団「樹林」団員募集

2002年2月に行う定期演奏会で歌う団員を募集。練習曲目はモーツァルト「ハ短調ミサ」他。練習は毎土曜18時半から宮前市民館が鷺沼小学校で。入会金1000円、月会費4000円。☎・Fax(856)7688の小倉さん。

●「中高年・離職者のためのパソコン教室」担当直通電話のお知らせ● 小誌4月号で、「生涯学習アラカルト」のコーナーで、「パソコン教室」の問い合わせ先を☎044(733)6626の当事業団学習事業室とお知らせしましたが、パソコン教室に関するお問い合わせは、教室担当直通の☎044(738)1561をお願いします。

●表紙写真が変わりました● 今号から1年間、多摩川周辺に飛来・棲息する野鳥を20年間撮り続けている、幸区在住のアマチュア写真家、有田政一さんの写真をお届けします。多摩川には100種の野鳥がおり、有田さんは、そのうち40種をカメラに収めたそうです。小誌では撮影時のエピソードなども紹介していく予定です。